

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月13日

上場会社名 日特エンジニアリング株式会社  
 コード番号 6145 URL <http://www.nittoku.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理副本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月16日

上場取引所 JQ

(氏名) 近藤 進茂  
 (氏名) 額賀 昭  
 配当支払開始予定日

TEL 048-837-2011  
 平成21年12月7日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	3,433	△56.3	20	△98.4	93	△92.8	△15	—
21年3月期第2四半期	7,854	—	1,290	—	1,312	—	685	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△0.93	—
21年3月期第2四半期	40.73	40.73

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	17,388	13,396	76.9	794.73
21年3月期	17,909	13,250	73.9	786.06

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 13,375百万円 21年3月期 13,229百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	10.00	—	5.00	15.00
22年3月期	—	5.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,500	△32.7	310	△73.9	410	△69.1	140	△72.3	8.32

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	18,948,923株	21年3月期	18,948,923株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	2,118,420株	21年3月期	2,118,161株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	16,830,660株	21年3月期第2四半期	16,826,325株

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、景気の下げ止まりが一部で報道されるものの、先行き不透明感は払拭されず、景気に関する指標は楽観、悲観を繰り返す状態が続き、企業の設備投資への姿勢も総じて慎重であり、予断を許さない状況で推移いたしました。

当社グループの中心である巻線機事業は、営業面においては、中国、台湾を中心に提案営業の強化による受注増加に努力し、また、生産面においては、当社が蓄積してきた巻線や巻取りなどのニッチな要素技術が、環境、省エネ、合理化の分野において、世界的かつ多様なポジションで期待に応えられるものであることから、技術、工法の研究開発に積極的に取り組み、これらの製品化も売上に寄与し始めました。しかしながら、企業の設備投資の再開は一部に限られており、当社グループの受注、売上は昨年末以降、緩やかな増加傾向にあるものの、強い回復には至っておりません。

これらの結果、前年対比では大幅な減収減益となり、売上高は34億33百万円（前年同期比56.3%減）、また、利益面におきましては、営業利益は20百万円（前年同期比98.4%減）、経常利益は93百万円（前年同期比92.8%減）、四半期純損失は15百万円（前年同期は四半期純利益6億85百万円）となりました。

## ① 事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## (巻線機事業)

全売上高の約90%を占める巻線機事業におきましては、リーマン・ショック後、各国の景気対策、在庫調整の進展などにより中国、台湾など一部地域で、日系企業を含んで生産活動が持ち直しを始め、薄型テレビ、自動車向けモーター関連、携帯電話、ゲーム機などの売上げが堅調に推移しましたが、その他の地域のメーカーの設備投資は低迷を続けました。結果として当第2四半期連結累計期間での売上高は30億57百万円（前年同期比59.1%減）となり、営業利益は1億36百万円（前年同期比91.2%減）となりました。

## (非接触ICタグ・カード事業)

非接触ICタグ・カード事業におきましては、アミューズメント用タグ・カードの受注は堅調に推移し、台湾のETC案件も在庫処理の終了により7カ月ぶりに受注が再開しましたが、全世界的な景気低迷の影響は避けられず、当第2四半期連結累計期間での売上高は2億64百万円（前年同期比1.0%減）となり、営業利益は原価低減と経費削減により43百万円（前年同期比356.9%増）となりました。

## (不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業におきましては、前期より不動産賃貸契約の内容に変更はなく、売上高は前年同期と同額の1億10百万円となり、営業利益は91百万円（前年同期比0.6%増）となりました。

## ② 所在地別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## (日本)

本邦におきましては、当社における自動車業界向けモーター関連並びに薄型テレビ向けチップ巻線機を中心とした巻線機の売上に、非接触ICタグ・カード事業と不動産賃貸事業の売上を加え、売上高は28億67百万円（前年同期比59.1%減）となり、営業利益は14百万円（前年同期比98.7%減）となりました。

## (アジア)

本邦を除くアジア地域におきましては、モーター向け巻線機及び薄型TV・AV用インバータトランス向け巻線機、電子部品用チップ巻線機などが堅調に推移したものの、売上高は5億18百万円（前年同期比32.7%減）となり、営業損失は29百万円（前年同期は営業利益90百万円）となりました。

## (アメリカ)

アメリカにおきましては、主に自動車メーカー、及び同部品メーカーの設備投資の停滞を受け、売上高は46百万円（前年同期比32.8%減）となり、営業利益は9百万円（前年同期比64.8%減）となりました。

## (ヨーロッパ)

現在、ヨーロッパに所在を置く当社子会社はございません。尚、同地域に対する当社グループの売上高は1億15百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 財政状態の分析

## ① 資産

流動資産は前連結会計年度末対比4億36百万円減少し、73億48百万円となりました。これは主として、現金及び預金が8億8百万円増加する一方、有価証券が4億円、受取手形及び売掛金が4億50百万円、棚卸資産が90百万円、未収還付法人税が2億51百万円減少したことによります。

固定資産は前連結会計年度末対比84百万円減少し、100億40百万円となりました。これは主として、建物等の有形固定資産が1億46百万円、保険積立金が63百万円、繰延税金資産が64百万円減少したものの、国内株式市場の回復により投資有価証券が2億31百万円増加したことによります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末対比5億20百万円減少し、173億88百万円となりました。

## ② 負債

流動負債は前連結会計年度末対比3億59百万円減少し、20億13百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が1億49百万円、短期借入金及び1年以内返済の長期借入金が1億4百万円、賞与引当金が1億58百万円減少したことによります。

固定負債は前連結会計年度末対比3億7百万円減少し、19億78百万円となりました。これは主として、長期借入金が3億11百万円減少したことによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末対比6億66百万円減少し、39億92百万円となりました。

## ③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末対比1億46百万円増加し、133億96百万円となりました。これは主として、投資有価証券の時価回復によりその他有価証券評価差額金が1億75百万円増加したことによります。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末比3億64百万円増加し、36億38百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前年同期に比べ6億50百万円増加し7億94百万円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益が前年同期に比べ11億23百万円減少し42百万円となったものの、売上債権が4億69百万円減少（前年同期3億89百万円の増加）し、前受金が54百万円の増加（前年同期2億88百万円の減少）となり、法人税等が2億44百万円の還付（前年同期4億79百万円の支払）となったことによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、31百万円（前年同期は5億88百万円の支出）となりました。これは主として、当期は子会社の取得による支出がなく（前年同期1億54百万円）、また有形固定資産の取得による支出が前年同期に比べ1億4百万円減少の19百万円となった他、定期預金の預入による支出が前年同期に比べ1億7百万円増加し3億97百万円あった一方、払戻しによる収入が3億63百万円（前年同期はなし）あり、保険積立金の積立による支出が前年同期に比べ2百万円減少し45百万円となった一方で払戻しによる収入が1億36百万円（前年同期はなし）あったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前年同期に比べ1億79百万円増加し5億円となりました。これは主として、配当金の支払額が前年同期に比べ1億17百万円減少し84百万円となり、また社債の償還（前年同期は70百万円の支出）がなくなった一方で、借入金の返済による支出が前年同期に比べ3億40百万円増加し4億15百万円となったことによるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの主力事業であります巻線機事業は、コイル、モーター等の最終需要製品である携帯電話、自動車及びAV・OA機器等の需要動向や、これらを製造するユーザー各社の設備投資動向に大きく左右されます。当社グループとしては、ユーザー各社とのパートナーシップ強化に努め、ユーザーの価値創造に寄与するような巻線機設備、省力化設備を研究・開発することで対応して参ります。

なお、平成22年3月期の連結業績予想につきましては、平成21年11月9日に発表しました業績予想のとおりであります。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

重要性がないため、記載を省略しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間まで営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「保険解約返戻金」(前第2四半期連結累計期間1,135千円)は、重要性が増加したため当第2四半期連結累計期間から区分掲記しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間まで営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しておりました「保険解約損益(△は益)」(前第2四半期連結累計期間△1,135千円)は、重要性が増加したため当第2四半期連結累計期間から区分掲記しております。

また前第2四半期連結累計期間まで投資活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しておりました「保険積立金の積立による支出」(前第2四半期連結累計期間△47,592千円)及び「保険積立金の払戻による収入」(前第2四半期連結累計期間1,135千円)は、重要性が増加したため当第2四半期連結累計期間から区分掲記しております。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,092,133	3,283,694
受取手形及び売掛金	1,645,596	2,095,666
有価証券	—	400,000
仕掛品	1,133,970	1,233,885
原材料及び貯蔵品	251,697	242,588
未収還付法人税等	—	251,341
その他	228,636	281,106
貸倒引当金	△4,020	△3,930
流動資産合計	7,348,014	7,784,351
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,792,453	2,885,019
機械装置及び運搬具(純額)	437,379	473,602
土地	4,490,105	4,490,105
その他(純額)	122,598	140,411
有形固定資産合計	7,842,536	7,989,139
無形固定資産		
その他	54,697	68,694
無形固定資産合計	54,697	68,694
投資その他の資産		
投資有価証券	1,424,858	1,193,667
その他	746,909	905,673
貸倒引当金	△28,191	△32,112
投資その他の資産合計	2,143,575	2,067,228
固定資産合計	10,040,809	10,125,062
資産合計	17,388,823	17,909,414
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	846,317	995,586
短期借入金	—	50,000
1年内返済予定の長期借入金	622,760	677,300
未払法人税等	49,913	19,663
賞与引当金	67,134	225,770
その他	427,642	404,868
流動負債合計	2,013,768	2,373,188
固定負債		
長期借入金	686,320	997,700
退職給付引当金	220,062	204,859
役員退職慰労引当金	—	269,571
負ののれん	184,831	207,935
その他	887,633	606,119
固定負債合計	1,978,847	2,286,185
負債合計	3,992,615	4,659,374

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,884,928	6,884,928
資本剰余金	2,581,497	2,581,497
利益剰余金	5,681,878	5,781,601
自己株式	△1,611,990	△1,611,858
株主資本合計	13,536,314	13,636,168
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△31,038	△207,003
為替換算調整勘定	△129,510	△199,213
評価・換算差額等合計	△160,549	△406,217
少数株主持分	20,442	20,088
純資産合計	13,396,208	13,250,039
負債純資産合計	17,388,823	17,909,414

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	7,854,985	3,433,042
売上原価	5,290,548	2,450,935
売上総利益	2,564,437	982,106
販売費及び一般管理費	1,273,830	962,071
営業利益	1,290,607	20,034
営業外収益		
受取利息	4,346	4,850
受取配当金	17,449	17,737
保険解約返戻金	—	29,318
負ののれん償却額	—	23,103
その他	20,218	25,573
営業外収益合計	42,014	100,583
営業外費用		
支払利息	2,202	14,661
債権売却損	11,623	2,387
為替差損	4,640	8,352
その他	2,091	1,236
営業外費用合計	20,556	26,638
経常利益	1,312,065	93,980
特別利益		
貸倒引当金戻入額	8,803	3,850
その他	3,562	736
特別利益合計	12,366	4,587
特別損失		
投資有価証券評価損	142,720	—
役員退職慰労引当金繰入額	—	50,431
その他	16,094	5,740
特別損失合計	158,814	56,171
税金等調整前四半期純利益	1,165,616	42,396
法人税、住民税及び事業税	521,879	39,067
法人税等調整額	△42,076	20,199
法人税等合計	479,803	59,267
少数株主利益又は少数株主損失(△)	407	△1,302
四半期純利益又は四半期純損失(△)	685,405	△15,568

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,165,616	42,396
減価償却費	178,385	169,398
負ののれん償却額	—	△23,103
保険解約損益(△は益)	—	△29,318
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△58,764	△4,754
賞与引当金の増減額(△は減少)	△134,948	△159,538
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△4,600	△269,571
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△7,003	15,203
受取利息及び受取配当金	△21,795	△22,588
支払利息	2,202	14,661
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,223	44
有形固定資産除却損	11,676	3,219
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,067	—
投資有価証券評価損益(△は益)	142,720	—
売上債権の増減額(△は増加)	△398,899	469,665
たな卸資産の増減額(△は増加)	81,720	92,251
仕入債務の増減額(△は減少)	△86,856	△162,576
長期未払金の増減額(△は減少)	—	280,597
前受金の増減額(△は減少)	△288,520	54,473
その他	26,999	71,180
小計	604,641	541,640
利息及び配当金の受取額	21,795	22,711
利息の支払額	△2,902	△14,824
法人税等の還付額	—	271,614
法人税等の支払額	△479,773	△26,958
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>143,760</b>	<b>794,182</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△289,421	△397,271
定期預金の払戻による収入	—	363,137
有形固定資産の取得による支出	△124,548	△19,647
有形固定資産の売却による収入	22,196	519
投資有価証券の取得による支出	△1,292	△2,481
投資有価証券の売却による収入	9,980	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△154,321	—
貸付けによる支出	△500	—
貸付金の回収による収入	2,132	1,770
保険積立金の積立による支出	—	△45,069
保険積立金の払戻による収入	—	136,322
その他	△52,243	△5,902

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△588,018	31,378
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△50,000
長期借入金の返済による支出	△75,600	△365,920
社債の償還による支出	△70,000	—
自己株式の取得による支出	△480	△131
自己株式の売却による収入	27,312	—
配当金の支払額	△201,544	△84,306
その他	△968	△199
財務活動によるキャッシュ・フロー	△321,281	△500,557
現金及び現金同等物に係る換算差額	△18,507	39,126
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△784,046	364,130
現金及び現金同等物の期首残高	3,657,367	3,273,942
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,873,321	3,638,073

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	巻線機事業 (千円)	非接触 I C タグ ・カード事業 (千円)	不動産 賃貸事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	7,476,765	267,586	110,633	7,854,985	—	7,854,985
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	7,476,765	267,586	110,633	7,854,985	—	7,854,985
営業利益	1,550,129	9,501	91,162	1,650,794	(360,186)	1,290,607

## (注) 1 事業区分の方法

事業は、製品及び役務の種類及び市場を考慮して区分しております。

## 2 各区分に属する主要な製品

- (1) 巻線機事業・・・・・・コイル製造用自動巻線機、巻線システム、巻線機周辺機
- (2) 非接触 I C タグ・カード事業・・非接触 I C タグ、非接触カード
- (3) 不動産賃貸事業・・・・・・ビル賃貸

- 3 当社は、当第1四半期連結会計期間より、減価償却資産の耐用年数等に関する省令の改正に伴い、有形固定資産の内、機械装置に係る耐用年数を従来の10年から9年に変更しております。この変更に伴い、当第2四半期連結会計期間の営業費用は巻線機事業が2,532千円、非接触 I C タグ・カード事業が1,172千円、消去又は全社が432千円増加し、営業利益が同額減少しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	巻線機事業 (千円)	非接触 I C タグ ・カード事業 (千円)	不動産 賃貸事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,057,430	264,978	110,633	3,433,042	—	3,433,042
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,057,430	264,978	110,633	3,433,042	—	3,433,042
営業利益	136,610	43,417	91,703	271,731	(251,696)	20,034

## (注) 1 事業区分の方法

事業は、製品及び役務の種類及び市場を考慮して区分しております。

## 2 各区分に属する主要な製品

- (1) 巻線機事業・・・・・・コイル製造用自動巻線機、巻線システム、巻線機周辺機
- (2) 非接触 I C タグ・カード事業・・非接触 I C タグ、非接触カード
- (3) 不動産賃貸事業・・・・・・ビル賃貸

## 【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	アメリカ (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	7,015,610	770,340	69,034	7,854,985	—	7,854,985
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	319,886	400,257	30,321	750,465	(750,465)	—
計	7,335,496	1,170,598	99,355	8,605,451	(750,465)	7,854,985
営業利益	1,146,401	90,009	27,840	1,264,250	26,356	1,290,607

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア・・・・シンガポール、マレーシア、タイ、台湾、中国

(2) アメリカ・・・・アメリカ合衆国

3 当社は、当第1四半期連結会計期間より、減価償却資産の耐用年数等に関する省令の改正に伴い、有形固定資産の内、機械装置に係る耐用年数を従来の10年から9年に変更しております。この変更に伴い、当第2四半期連結会計期間の営業費用は日本が4,137千円増加し、営業利益が同額減少しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	アメリカ (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,867,929	518,691	46,420	3,433,042	—	3,433,042
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	168,890	189,774	3,956	362,621	(362,621)	—
計	3,036,819	708,466	50,377	3,795,663	(362,621)	3,433,042
営業利益又は営業損失(△)	14,453	△29,325	9,802	△5,068	25,103	20,034

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア・・・・シンガポール、マレーシア、タイ、台湾、中国

(2) アメリカ・・・・アメリカ合衆国

## 【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計
I 海外売上高(千円)	3,098,774	302,778	406,139	3,807,692
II 連結売上高(千円)	—	—	—	7,854,985
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	39.4	3.9	5.2	48.5

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計
I 海外売上高(千円)	1,249,167	83,519	115,591	1,448,279
II 連結売上高(千円)	—	—	—	3,433,042
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	36.4	2.4	3.4	42.2

- (注) 1 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高の合計額（但し、連結会社間の内部売上高を除く。）であります。
- 2 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
- 3 各区分に属する主な国又は地域
- (1) アジア・・・シンガポール、マレーシア、タイ、台湾、中国、韓国
- (2) アメリカ・・・アメリカ合衆国、メキシコ
- (3) ヨーロッパ・・・ドイツ、フランス、オーストリア

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 6. その他の情報

## 【生産、受注及び販売の状況】

## (1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間における事業の種類別セグメントの生産実績は、以下のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	金額(千円)	前年同四半期比 (%)
巻線機事業	3,057,430	△59.1
非接触 I C タグ・カード事業	264,978	△1.0
合計	3,322,408	△57.1

(注) 1 金額の表示は、売価換算によっております。

2 上記の金額に消費税等は含まれておりません。

なお、当社グループは、製品製造に係る部品加工、機械組立加工、電気配線組立加工等の一部を外注に委託しております。

事業の種類別セグメントの外注加工費の総製造費用に占める割合は、巻線機事業6.0%、I C タグ・カード事業22.6%であります。

## (2) 受注状況

当第2四半期連結累計期間における事業の種類別セグメントの受注状況は、以下のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
巻線機事業	4,140,015	△34.8	2,608,048	△26.5
非接触 I C タグ・カード事業	283,387	4.0	125,434	49.0
合計	4,423,403	△33.2	2,733,483	△24.7

(注) 上記の金額に消費税等は含まれておりません。

## (3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における事業の種類別セグメントの販売実績は、以下のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	金額(千円)	前年同四半期比 (%)
巻線機事業	3,057,430	△59.1
非接触 I C タグ・カード事業	264,978	△1.0
不動産賃貸事業	110,633	0.0
合計	3,433,042	△56.3

(注) 1 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は以下のとおりであります。

相手先	前2四半期連結累計期間		当第2四半期累計会計期間	
	販売高(千円)	割合 (%)	販売高(千円)	割合 (%)
TDK(株)	792,788	10.1	386,624	11.8

2 上記の金額に消費税等は含まれておりません。